

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「正しい行動」を学ぼう
ねらい (学習目標)	1. 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る 2. 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える 3. 安全な場所への移動のルールを学ぶ
対象学年	小学校高学年（「指導上の留意点」の表現を変更することで低中学年や中学生にも応用可）
教科・イベント等	事前学習1（総合的な学習・特別活動）
学習形態	全員（授業）・グループ <span style="float: right;">計45分</span>
準備	ワークシート（A～C）、緊急地震速報リーフレット（気象庁）、緊急地震速報受信端末（訓練モード）、訓練用音源（DVD「津波に備える」）、アンケート（「地震アンケート」）、退避行動イラスト、ホワイトボード・ペンなど ※資料は気象台ホームページに掲載

■学習の流れ

構成	学習活動の内容	指導上の留意点（主な発問と子どもへの援助） 
1 導入 (8分)	<p>1.緊急地震速報についての基礎的な知識を知る（8分）</p> <p>1-1.地震の怖さを知る（2分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     学習のポイント1「地震によって起こる被害を知る。」                 </div> <p>1-2.緊急地震速報についての基礎的な仕組みを知る（6分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     学習のポイント1「緊急地震速報のチャイム音は、テレビ・ラジオと携帯電話では音が違うことを理解する。」                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     学習のポイント2「強い揺れが到達するまでの猶予時間を理解し、短い時間で身を守る行動をとらなければならないことをイメージする。」                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     学習のポイント3「緊急地震速報が間に合わない、発表基準に満たない揺れの小さい地震では速報が発表されない等、技術的な限界があることを知る。」                 </div>	<p> 「日本では様々な災害が発生します。皆さんが『災害』という言葉を知ると、どのような災害を思い出しますか。」                      ※ここでいくつかの災害を挙げさせる（地震、津波、雷、暴風雨、竜巻、噴火、土石流、雪崩、大規模火災や爆発（人為災害）等）。</p> <p> 「日本は地震大国です。皆さんも地震の揺れを経験していると思いますが、大地震によってどのような被害が起こるのでしょうか。」                      ※過去に発生した地震（東日本大震災、阪神・淡路大震災等）について、写真等を見せながら被害をイメージさせる。</p> <p> 「地震は、いつどこで起きるかわかりません。突然強い揺れが襲ってくることもあります。日本では、大きな地震が起きた時には、「地震です、気を付けて下さい！」と教えてくれるチャイム音があります。今日は、地震の揺れがくる前に、自分の身を守るための学習をしていきます。」</p> <p> 「まず、今から流す音を聞いて下さい。」                      ※ラジカセでチャイム音を聞かせる（ティロン～ティロン～）。                      ※音は何かを何人かに発表させる。</p> <p> 「この音（チャイム音）が「緊急地震速報」です。テレビやラジオで『ティロン♪ティロン♪』という音が鳴ってから、『緊急地震速報です。強い揺れに警戒して下さい』というアナウンスが流れます。携帯電話でも、違う音ですが緊急地震速報を聞くことがあります。」                      ※携帯電話の音を聞かせるとよい（ヒュー～ヒュー～ヒュー～）。</p> <p> 「緊急地震速報は、地震による強い揺れがくる前に『地震です、気を付けて下さい！』と知らせてくれるチャイム音ですが、緊急地震速報を聞いてから、強い揺れがくるまでにどれくらいの（猶予）時間があると思いますか。」                      ※何人かに発表させる。</p> <p>※いくつか時間を例示して、全員に手を挙げさせるのもよい。</p> <p> 「緊急地震速報は、大きな地震が起きた時に、初めに来る弱い揺れ（P波）を地震計で素早くキャッチして、強い</p>

		<p>揺れ（S波）が来るよりも早くチャイム音で知らせる仕組みです。弱い揺れから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。地震が起きた場所（震源）に近いと、緊急地震速報が間に合わない場合もあります。小さい（発表基準に満たない）地震では発表されません。」</p> <p>※リーフレットを配布して説明してもよい。</p> <p>※高学年は、技術的な限界を知り理解を深める。</p> <p>「緊急地震速報は、どのような時にテレビやラジオ、携帯電話から流れるのか、チャイム音を聞いた時には、強い揺れがくるまで時間がないことがわかりました。」</p>
<p><b>2 展開1</b> <b>(35分)</b></p>	<p>2.地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える (35分)</p> <p>2-1.地震による「物の動き方」を確認する (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート1番 (3分)</li> <li>・個人ごとに発表する (1分)</li> <li>・まとめ (1分)</li> </ul> <div data-bbox="293 999 751 1128" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習のポイント1「ものは「落ちる」「倒れる」「移動する」ことがあることに気付かせる。」</p> </div> <p>2-2.緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える (25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2番 (10分)</li> </ul> <div data-bbox="293 1323 751 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習のポイント1「身を守る方法を考えさせる。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて話し合う (7分)</li> </ul> <div data-bbox="293 1749 751 1845" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習のポイント2「グループ学習によって他者の考え方を知り、理解を深める。」</p> </div>	<p>「次に、緊急地震速報を聞いた時や、突然地震の揺れが襲ってきた時、自分の身を守るためには、地震によって起こる危険を知っておくことが重要です。ワークシートの1番を見てください。イラスト①～③を参考に、地震によって起こる3つの危険なことについて、自分の意見を書いて下さい。」</p> <p>□ワークシート（「地震から自分の身を守ろう！」）を配布</p> <p>「では、何人かに発表してもらいます。」</p> <p>※何人かに発表させ、黒板にまとめる。</p> <p>「それでは確認します。地震が起こった時に危険なことは、①番は、『上からものが落ちてくる。』です。②番は、『横からものが倒れてくる。』です。③番は、『ものが動いてくる。』です。地震の時には、どこにいてもこのような危険から身を守ることが大切です。」</p> <p>※1つずつ、具体的に危険なものを例示しながら理解を深める。</p> <p>「次に、緊急地震速報のチャイム音を聞いたり、地震の強い揺れを感じた時、どうすれば自分の身を守ることができるのかを考えてみましょう。ワークシートの2番を見てください。皆さんが学校にいる時に、緊急地震速報を聞いたり、強い揺れが襲ってきたことを想像して下さい。教室の他、それぞれの場所にいた時、どのように自分の身を守ればよいのか、自分の意見を書いて下さい。」</p> <p>※緊急地震速報受信端末が未設置の学校では、チャイム音は訓練のみで放送することを説明する。</p> <p>「これから、グループに分かれて皆さんの考えた意見を話し合います。各グループに考えてもらう場所を伝えますので、まずグループの中で自分の意見を発表しあって、班长さんはグループの意見をホワイトボードに書いてまとめて下さい。話し合いの後にそれぞれのグループとしての意見を発表してもらいます。グループになりましょう。」</p> <p>□ホワイトボード、ペンを各グループに配布する</p> <p>※「〇〇くん・〇〇ちゃんと同じです。」と言うのではなく、自分の意見を発表させるように指導する。</p> <p>※グループ分けしない場合には、1つずつ発表させ、発表した意見を黒板に整理しながら話しあって確認してもよい。</p>

・グループごとに発表する (12分)

2-3. 「安全行動」(だんごむし) の大切さを理解する (3分)

学習のポイント1「安全行動の違いを理解して、地震から身を守る方法の理解を深める。」

学習のポイント2「短い時間で自分の身を守る対応行動「だんごむし」の必要性を理解する。」

2-3.ワークシート3番 (5分)

 「では、○グループから発表してもらいましょう。」

※ホワイトボードの回答を整理する。黒板にまとめてもよい。

※自分の意見以外は、赤や青鉛筆でワークシートに記入させる。

※教室での行動は理解しやすいので、その他の場面を手厚く指導。

 「グループ発表では、学校の中のそれぞれの場所で、地震からどのように身を守るのか、いろいろな意見がありました。皆さんの考えた身の守り方と同じでしたか。どの場所でも共通している身の守り方がありました。」

※何人かに発表させてもよい。

 「地震から身を守る時には、『頭を守る』ことが大切です。緊急地震速報や強い揺れが襲ってきた時、教室にいる場合には、机などで身を守ることができます。『シェイクアウト』で行う行動(安全行動1-2-3)が大切です。この図のように『まず姿勢を低く(Drop)、頭を守り(Cover)、動かない(Hold on)』という3つの行動で自分の身(命)を守ります。」

「安全行動1-2-3」※シェイクアウトという防災訓練の考え方。



まず低く  
頭を守り  
動かない!

□黒板に掲示する

 「もし、まわりに身を守る道具や場所がない時はどうでしょう。地震の揺れは突然きますし、緊急地震速報を聞いてから数秒から数十秒しか移動できる時間はありません。このような時には、その場で身を守ることが大切です。膝と肘を床について『頭を守る姿勢』をとりましょう。シェイクアウトと同じ「姿勢を低く・頭を守り・じっとする」の姿勢です。『だんごむし』のポーズで身を守って下さい。」



※低学年には、「だんごむし」のポーズが理解しやすい。

※安全行動をその場で実践してもよい。

 「学校にいる時に、緊急地震速報や強い揺れが襲ってきた時の身の守り方を学習しました。学校の外にいる時にも、地震が起こることもあります。」

※具体的にいくつか場所を提示する(自宅、コンビニ、映画館等)

 「今日学習したことのまとめ(復習)です。地震から身を守るためには、地震によって起こる危険から身を守らなければなりません。緊急地震速報の仕組みもわかりましたので、チャイム音を聞いた時、どのように行動すればよいのでしょうか。周りに誰もいなくて、一人でいた時にはどうすればよいのでしょうか。自分の身を守るための大切な行動(ポイント)を、ワークシートの3番に書いて下さい。」

	<p>学習のポイント 1『落ちてこない・倒れてこない・移動してこない』場所へ移動することの復習。」</p> <p>学習のポイント 2「緊急地震速報を聞いたときの行動の復習。」</p> <p>学習のポイント 3「自分で考えて行動することの大切さを理解する。」</p>	<p>「それでは発表してもらいましょう。」 ※何人かに発表させる。</p> <p>「自分の身を守るための大切な行動です。1つめは、ものが「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所へ移動して身を守ることです。2つめは、緊急地震速報を聞いた時には、数秒から数十秒の短い時間で身を守ることです。特に大事なことは、慌てずに、自分で考え、自分の判断で行動することです。」 ※具体的に危険なものを例示する。</p> <p>「地震はいつ起きるかわかりません。いつも先生や家族、大人が近くにいるとは限りません。緊急地震速報を聞いた時や強い揺れが襲ってきた時には、今日学習したように危険な場所から移動して、慌てずに、自分で考えて自分の身を守って下さい。」</p>
<p><b>3 展開2</b> (1分)</p>	<p>3.安全な場所への移動のルールを学ぶ (1分)</p> <p>学習のポイント 1「避難する時のルールを復習する。」</p>	<p>「揺れがおさまったら、もっと安全な場所へ移動(集合)します。その時の合言葉を覚えていますか。」</p> <p>「『お・か・し・も・ち』です。どこへ避難すればいいのか、どこかで火事が起きていないか、お喋りをしていると大事な放送(指示)を聞き逃してしまいます。ルールをしっかり守り行動できるようにしましょう。」 ※それぞれの避難行動を1つずつ確認する。 ※おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない</p>
<p><b>4 まとめ</b> (1分)</p>	<p>4.緊急地震速報による対応行動難訓練について説明する (1分)</p>	<p>「今日は、緊急地震速報を聞いた時や強い揺れが襲ってきた時の対応行動の仕方を学習しました。学校の訓練では、緊急地震速報のチャイム音を使用して訓練をします。校内放送で緊急地震速報が流れた時には、今日学習したことを思い出し、自分で考えて行動して下さい。」</p>

■評価ポイント

1 緊急地震速報の基礎的な仕組みを理解しているか
2 強い揺れや緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはいけないかを理解しているか
3 自分の判断で危険を回避し、自分の判断で行動することが理解できたか

■特記事項

<p>・6年生は「静かに聞くことができなかった」と自己評価する傾向→6年生に訓練の意味や、バカにしたり恥ずかしくて訓練に望まないように注意する必要性あり</p>
<p>・低学年は「何をしたらよいか自分で考えることができなかった」と自己評価する傾向→1、2年生には具体的な行動について考えさせたり丁寧に教える工夫がより必要</p>
<p>・本指導案は、学習指導要領に沿った内容ではなく、緊急地震速報の理解のしやすさと、緊急地震速報を聞いたときの対応行動の仕方を現している</p>
<p>・中学生は、緊急地震速報のしくみなどの「理科学習」につなげることができる</p>
<p>・効果測定を行う場合、指導前後に事前事後評価のためのアンケート「地震アンケート」を記入させ確認する</p>